

小学校英語指導者の皆様

オンライン講演会『CLIL(クリル)アプローチによる小学校英語授業の実践』のご案内

海外子女教育振興財団(JOES)では昨年、上智大学教授 逸見シャントール氏と協働で、日本人学校出身の小学4・5年生を中心としたグループを対象に、英語の「CLILワークショップ(全8回)」を開催しました。2022年は再び逸見先生との協働企画として、以下のとおり、主に小学校英語指導者の皆様を対象とした「オンライン講演会」を開催いたしますのでご案内申し上げます。(講演は日本語で行います)



- 『CLIL(クリル)アプローチによる小学校英語授業の実践(検定教科書を使用)』
- 開催日時: 2022年8月9日(火) 14:00~15:30(日本時間)
- 対象: 小学校の先生方のみならず、児童英語教育にご興味のある方ならどなたでも参加していただけます。
- 内容: 小学校英語検定教科書「New Horizon Elementary 6」のUnitを1つ抽出し、CLILアプローチ※による「クリエイティブで且つ児童の積極的な学びに繋がる授業」の、実践と解説をします。

※ CLIL(Content and Language Integrated Learning)・内容言語統合型学習とは、付加言語(日本では英語である場合が多い)を使用してテーマや教科科目を学ぶ学習形態です。内容(Content)・言語(Communication)・思考(Cognition)・文化(Culture)の4つのC(Coyle, et al, 2010)を取り入れてカリキュラム及び授業を展開して行きます。協同学習(協学)と異文化理解を重視した教育である点も特徴で、思考力を育むことはCLILの重要な柱です。「主体的・対話的で深い学び」(MEXT, 2022)を実現させるために役立つアプローチを中心に講演を行います。

References

Coyle, D., Hood, P., & Marsh, D. (2010). *CLIL: Content and language integrated learning*. Cambridge University Press.

MEXT(2022). Retrieved

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/10/24/1397727_001.pdf

●講師: 上智大学 言語教育研究センター教授 逸見(ハンミ) シャントール先生

(講師略歴) 上智大学で教鞭を取る前は、ブリティッシュ・カウンシル(東京)のアカデミックディレクターを務め、初等英語及び社会人を教える教員の教師育成プロジェクトに携わった。主な研究テーマは、CLILの手法と授業における批判的思考。英国では現地校、香港では日本人学校に通った。主な使用言語は英語で国籍は日本。帰国子女への支援を研究活動として行う。

最近の著書・論文

Hemmi, C., & Banegas, D. L. (Eds.). (2021). *International Perspectives on CLIL*. Palgrave Macmillan.

Sato, T. & Hemmi, C. (2021). Development of second language productive skills through Academic Communication 1 at Sophia University. *Lingua* 32. pp.165-173.



- お申し込み: <https://www.joes.or.jp/kojin/hoji/news/detail/60> からお申し込みください。(参加費無料。定員になり次第締め切らせていただきます。)

- お問い合わせ先: 公益財団法人 海外子女教育振興財団 教育振興チーム CLIL事務局
TEL: 03-4330-1344 Email: clil@joes.or.jp

